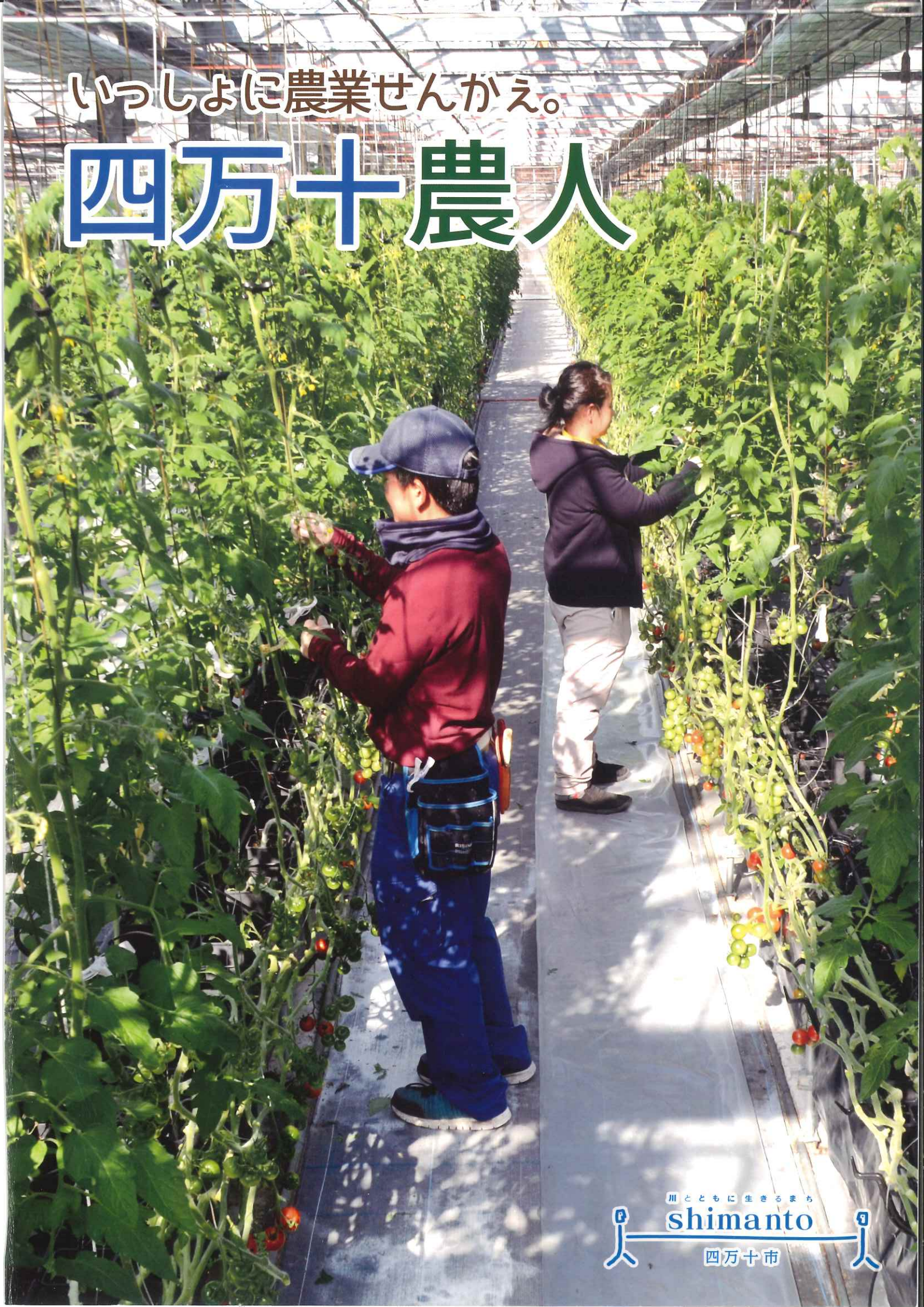


いっしょに農業せんかえ。

# 四万十農人



川とともに生きるまち

shimanto

四万十市







## 四万十市で農業に挑戦してみませんか？

全国の中山間地域と同じく、四万十市でも人口流出や高齢化など様々な問題に直面し、地域の将来を担う後継者や人材が不足しています。














特に、農業の担い手不足は深刻です。

四万十市では「本気で農業をはじめたいあなた」を応援していきます。

いっしょに農業せんかえ。



## 目次

	四万十市ってどんなところ？	.....	2
	農業の魅力	.....	4
	農業を始める前に5つの確認	.....	5
	四万十市の農業	.....	6
	四万十市で農業をはじめてみませんか？	.....	7
	四万十市での農業研修	.....	8
	農業研修・就農に向けたスタート	.....	11
	農業の開始	.....	13
	農業の先輩からのアドバイス	.....	14
	新規就農者インタビュー	.....	15
	移住した農業者インタビュー	.....	16
	参考1～4	.....	17
	各種お問い合わせ先	.....	22





## 四万十市ってどんなところ？

### 四万十市の概要

高知県の西南部に位置する、人口約33,000人(令和3年1月時点)の市です。

#### ● 自然環境

日本最後の清流といわれる“四万十川”が流れています。川漁文化などが残り、市民とのかかわりの深い四万十川は「重要文化的景観」に選定され、今も人と自然が共生している“川とともに生きるまち”です。山林資源も豊富で海にも面しているため、都会では味わえない新鮮な山川海の幸を味わうことができます。

#### ● 歴史的背景

室町時代後期、応仁の乱を機に土佐中村へ下向(げこう)した前関白一條教房(さきのかんぱくいちじょうのりふさ)公が、中村のまちの発展の礎を築き上げたことから「土佐の小京都」とも呼ばれています。



### 四万十市の魅力

四万十市の魅力は山川海の自然が楽しめることです。

その自然がくれる恵みのひとつは食。とれたての新鮮な野菜や水産物などの地元食材が味わえます。

他にも、初夏にはホタルが舞い、秋には紅葉が楽しめます。海と川が近いので、季節を問わずアウトドア(カヌーやサーフィンなど)が楽しめます。全国屈指のサーフビーチには、全国各地から多くの人を訪れています。

## アクセス

### 飛行機で

東京 羽田空港	✈	1時間 15分
大阪 伊丹空港	✈	45分
名古屋 小牧空港	✈	1時間
福岡 福岡空港	✈	1時間
神戸 神戸空港	✈	50分
高知龍馬空港	✈	高知駅(35分) 空港連絡バス

### 車で

大阪	徳島IC 徳島自動車道 高知自動車道 四万十町中央IC	5時間 20分
神戸	徳島IC 徳島自動車道 高知自動車道 四万十町中央IC	4時間 20分
岡山	高知自動車道 四万十町中央IC	3時間 20分
広島	しまなみ海道 松山自動車道 津島岩松IC	5時間
松山	松山自動車道 津島岩松IC	3時間 30分
高知	高知自動車道 四万十町中央IC	1時間 55分

### 鉄道で

高知駅	JR四国・土佐くろしお鉄道(特急利用)	中村駅	約 2 時間
-----	---------------------	-----	--------

## 生活環境

令和 2 年 3 月 31 日 現在

教育環境	保育所・幼稚園：21 小学校：14 中学校：12 高等学校：3
医療機関	診療所：22 一般病院：8（うち、救急病院：0） 小児科：2 産科：1 歯科：19 眼科：2 耳鼻科：2
量販店	スーパーマーケット：6

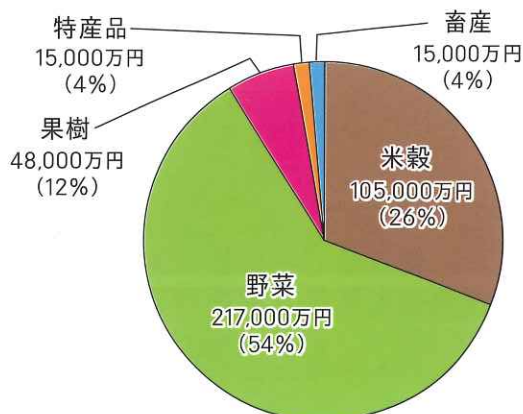
## 主な産業

単位（百万円）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
第1次産業 計		3,621	3,949	3,590
内訳	農業	2,489	2,628	2,551
	林業	797	883	757
	水産業	335	438	282
第2次産業		12,090	12,665	12,984
第3次産業		96,905	96,842	97,306

出典：「平成30年度市町村経済計算（高知県）」

## 農業（品目別販売及び主要品目生産量）



出典：「2016年度 政府統計」

農作物名	年間生産量
水稻	4,280 t
ナス	456 t
生姜	376 t
ピーマン	368 t
きゅうり	320 t
トマト	179 t
ナバナ	87 t
シシトウ	85 t
オクラ	79 t
大葉	50 t

出典：「令和2年3月 高知の作物データ」  
（作成者：高知県農業振興部環境農業推進課）  
出典：「高知県の園芸」（作成：令和2年3月 高知県農業振興部）





## 農業の魅力

### ① 自分が努力した分だけ、自分に返ってきます

一番の魅力は、自分が努力をした分だけ返ってくることにあります。

農業はサラリーマンと違って今年より来年、来年より再来年と、経験を積むことによって技術が向上して収穫量や収入を増やすことが可能です。

### ② 時間の使い方は自分次第

1日そして1年間の時間の使い方を自分で自由に決められることが農業の魅力のひとつです。栽培する品目によって農閑期はそれぞれ異なりますが、余暇をうまく使ってリフレッシュしている農業者もいます。

### ③ 教えてくれる仲間がいます

「農業は未経験」「栽培で困ったら誰に相談すればいいか」という不安があるかもしれません。そんな時は、経験豊富な先輩農業者や関係機関に相談できます。（そのためには、先輩や地元との人間関係をつくっておくことが大切です。）

## 移住して農業を始める方の ミニ Q&A

**Q** 住む家を紹介してもらいたいのですが。

**A** 移住者向けの住宅をご紹介できます。市内には移住をサポートする「NPO 法人四万十市への移住を支援する会」や不動産業者もあります。

**Q** 農地の紹介してもらいたいのですが。

**A** 基本的にはご自分で探していただきますが、関係機関（市・県・JA）や農地中間管理機構（農地バンク）が探すお手伝いをします。

**Q** 農業を始めるために、車は必要ですか。

**A** 農産物を出荷するためには必須（軽トラックなど）です。また、市内には公共交通機関（鉄道・バス）はありますが、車がないと不便です。

**Q** 農産物を育てるための気候について教えてください。

**A** 今お住まいの土地との比較にもよりますが、夏は暑く冬は寒い土地です。市の面積が広いので、平野部と山間部では気温も気候も異なります。

## 農業を始める前に5つの確認

### ① 農業のリスクや厳しさを理解していますか。

- ・ 農業経営が軌道に乗る（黒字経営になる）までに平均3年から5年程度を要するため、その間の生活費の確保が必要です。
- ・ 農業は気象条件に左右されることが多く、農産物の価格変動による所得減少もあります。

### ② 自然のなかでの農作業は楽しさだけではありません。

- ・ 単純作業の繰り返しや炎天下での農作業も多くあります。

### ③ 農村での暮らしになじめますか。

- ・ 都会に比べて不便を感じる人が多いです。
- ・ 地域行事や共同作業に積極的に参加するなど、地域とのかかわりが重要です。

### ④ 家族の理解と協力が得られますか。

- ・ 農業はサラリーマン生活と違い、休日が不規則です。家庭をもっている方は、家族の理解や協力が必要となります。
- ・ 事前に十分な話し合いをしましょう。

### ⑤ 農業をするための資金はありますか。

- ・ 農業機械準備・・・新たに農業を始めるには農機具の購入や施設（ハウス・倉庫）等の建設が必要です。
- ・ 生活費・・・販売代金が入金されるまで収入がありませんので、その間の生活費の確保が必要です。

- 農業経営を開始するために必要な資金の目安額
- |             |            |
|-------------|------------|
| 施設野菜栽培：預貯金額 | 約 500 万円以上 |
| 露地野菜栽培：預貯金額 | 約 300 万円以上 |

農業を続けていくために必要なもの  
**本気 × 人脈 × お金**





## 四万十市の農業

太平洋に面した温暖な気候のもと、施設野菜（ショウガ・ピーマン・トマト・米ナスなど）や露地野菜（オクラ・ブロッコリーなど）、水稻・果樹などの多くの品目の農産物が栽培されています。

### 農産物の産地化の取り組み

四万十市では、3ページに示したように、多くの品目が栽培されています。その中でもトマト、ピーマン、米ナスについては、農家数や生産量を増やす産地化の取り組みを進めています。

この3品目については、担い手を募集する産地・地域と就農希望者との円滑なマッチングを進めるため、産地・地域が求める人材の確保に向けて「産地提案書」を策定し、研修期間中の補助金額（125,000円/月）に上乗せ（25,000円/月）しております。





## 四万十市で農業をはじめてみませんか？

### 農業研修や就農に向けた相談

四万十市で農業を始めたいとお考えの方は、四万十市農林水産課または西土佐総合支所産業建設課へご相談ください。

- ※ 四万十市では、農業研修を受けられる施設が2箇所あります。
- ・ 四万十農園あぐりっこ（施設トマト栽培、施設ピーマン栽培等）
  - ・ 西土佐農業公社（雨よけ米ナス栽培、施設トマト栽培等）



就農希望者の相談を受ける農業関係機関

### 《研修施設以外での農業研修》

研修施設以外での農業研修を希望される場合は、その品目の生産(受入)農家を紹介します。



ハウス内でショウガの植え付けをする研修生





## 四万十市での農業研修

農業研修生は、市内研修施設や栽培農家で、就農に必要な栽培技術や経営ノウハウを身につけることができます。

（ 研修期間は最長2年間です。  
なお、研修開始1年目は、高知県立農業担い手育成センター（高知県四万十町）で最短3ヶ月の研修があります。 ）

### 《研修施設紹介》

#### ① 四万十農園あぐりっこ



施設外観

四万十農園あぐりっこでは施設園芸で就農を目指す研修生の育成を行っています。

この施設ではピーマンの土耕栽培とトマトの養液栽培（ポット栽培）を学ぶことができます。

また、研修終了後に独立して経営ができるように、研修生がハウスを管理し、栽培管理や経営についても学ぶことができます。



ポット栽培



研修指導者の山本事務局長



## ② 西土佐農業公社



施設外観

研修生の栽培のメインとなるのは、独立時の品目として推奨している米ナスです。米ナスは、山間地の小さな圃場でも効率的に生産できる栽培方法が西土佐地域では確立されています。

栽培方法は露地と施設（ハウス）がありますが、西土佐農業公社ではその両方の栽培を経験できます。また平成 27 年度からは、「簡易雨よけハウス」という人の身長ほどの高さの低コストなハウスでの栽培を取り入れています。簡易雨よけハウスは収穫期間が露地よりも長く、また秀品率も高いため高収益が見込め、通常のハウスの 1/10 程度のコストで設置できます。研修後の独立の際にも、この簡易雨よけハウスを推奨しています。



また、新規就農者向けに簡易雨よけハウスのレンタルを行なっています。これは新規就農者の初期コストの負担をなるべく減らすための取り組みで、非常に低コストで農業経営を開始できます。



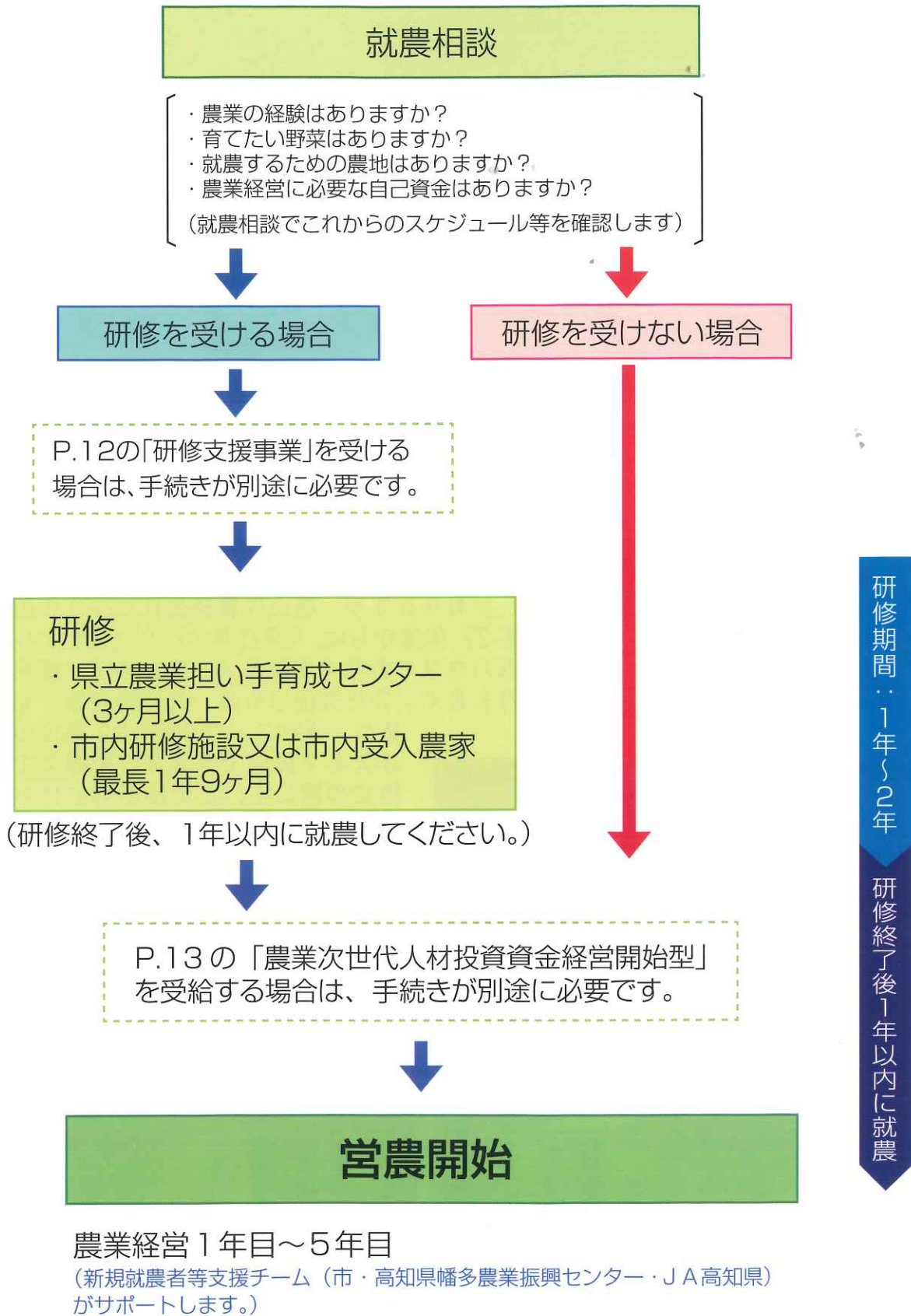
実った米ナス



研修指導者の武内事務局長



## 四万十市での農業の始め方フローチャート





## 農業研修・就農に向けたスタート

就農に向けて、研修開始と同時に計画作成が必要となってきます。栽培する品目や就農地、そして就農に必要な資金について考えていきましょう。

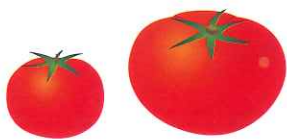
### 1 品目の選定

研修や就農地を決定するために重要な要素です。品目により経営規模や必要な設備が異なりますので、農業経営モデルを参考にしながら品目を検討しましょう。  
(品目の例は、17ページ以降を参照ください)

### 2 就農地を決める

※1

自分の目指す経営品目や家族の納得する生活条件等を考えて候補地をしぼり込みます。実際に地域に足を運び、地域の人との信頼関係を築くことが必要です。栽培品目に適した農地情報については、JA等から情報を得ることができます。



### 3 必要な資金の確保

※2

農業をはじめるときの場合、次の資金が必要です。

- ・ビニールハウスの建設費用(施設園芸の場合)
- ・農機具(トラクター等)の購入費用
- ・農機具を保管する倉庫の建設費用
- ・農地の借り入れ費用
- ・種苗や肥料の購入費用



青年等就農資金などの有利な制度資金を活用できますが、借入には一定の要件があり、信用状況等によっては保証人等を求められる場合があります。

なお、就農初期には経営が安定せず収入が不安定になりがちですので、自己資金として 数年程度の生活費を用意しておくことが安心です。

- ※1 就農相談時点で就農地が決まっていな場合は、研修期間中に就農地を決めていきます。  
 ※2 資金確保が必要な時期は研修終了後の就農時ですが、研修開始前からある程度の必要額を想定しておく必要があります。



## 農業研修・就農に向けたスタート

新規就農を希望する研修生に対し、研修期間中の生活を支援する制度があります。

### 研修支援事業（注1）

研修先	対象年齢	研修品目	研修要件	補助金額
四万十農園 あぐりっこ	18歳以上 50歳未満	・施設トマト ・施設ピーマン	・研修開始までに市内に住所を有すること ・研修後1年以内に独立自営就農または雇用就農を目指すこと（※就農できる要件を備えていること） ・認定新規就農者になること	・基本構想タイプ 月額12万5千円以内 ・産地提案タイプ 月額15万円以内
西土佐 農業公社	18歳以上 50歳未満	・雨よけ米ナス ・施設トマト ・露地野菜（茎ブロッコリー他）	※以下の場合には返還対象です。 ・適切な研修を行っていない場合 ・研修後1年以内に農業を開始しなかった場合 ・研修期間の1.5倍又は2年間のいずれか長い期間継続しなかった場合	
市内受入農家	18歳以上 50歳未満	上記以外の希望品目（希望品目の受入農家がある場合のみ）		

注1 農業所得250万円以上の経営を目指す方が対象となります。（農業所得の目安額は17ページ以降に記載）

### 就農に必要な資金・労働力の目安

内容	施設野菜	雨よけ栽培	露地栽培
資金	500万円以上	200万円以上	300万円以上
労働力 （注2）	1名以上	1名以上	1名以上

注2 本人を含む人数です。経営規模によっては、記載以上の労働力人数の確保が必要です。



## 農業の開始

経営者となり農業経営(生産・管理・販売)が始まります。

「就農5年後に年間農業所得額250万円以上」を目標に経営することになります。経営開始初期は、初期投資等に多額の経費がかかりますが、下表の補助事業もありますのでご活用ください。

事業区分	内容	要件	補助内容
<p>農業次世代人材投資資金 経営開始型</p> <p>※前年の世帯所得が600万円以上の場合は補助を受けることができません</p>	<p>経営リスクを負っている新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を支援。</p> <p>独立・自営就農時の年齢が原則50歳未満の新規就農された方に、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、給付金を給付。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立・自営就農時の年齢が50歳未満の認定新規就農者。</li> <li>・農地の所有権又は利用権を給付対象者が有していること。</li> <li>・主要な機械、施設を所有または借りていること。</li> <li>・生産物や資材費を自己名義で出荷、取引すること。</li> <li>・売上経営等を通帳及び帳簿で管理すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営開始1年目から3年目は年間150万円。経営開始4年目から5年目は年間120万円。</li> </ul> <p>【給付停止】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年等就農計画等を実行するために必要な作業を怠るなど、適切な就農を行っていない場合等。</li> </ul>
<p>園芸用ハウス整備事業 (新規就農区分)</p>	<p>JA等が農家向けの園芸ハウスを建てる場合、ハウス建設費に対し補助することで、ハウスを利用する農家の初期投資額を少なくする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農が確実と見込まれる者</li> <li>・就農開始から5年以内の者</li> <li>・新たに施設園芸に参入する者</li> <li>ただし、既存の園芸農家を承継する場合を除く</li> <li>・簿記記帳を行う農業者であること</li> <li>・園芸施設共済又は民間事業者が提供する保険に加入し、かつ、当該施設の処分制限期間において加入を継続すること</li> <li>・農林水産省ガイドライン準拠GAP(高知県版GAP)に取り組むこと</li> </ul>	<p>補助率:11/15以内 対象経費の補助限度額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軒高・高強度ハウス 1,000万円/10a</li> <li>・一般ハウス 800万円/10a</li> </ul> <p>流出防止装置付燃料タンク 130万円/基</p>

※作成時の内容のため、変更となる場合があります。



## 農業の先輩からのアドバイス



### ■ トマト農家：安田 幸人さん

平成6年に父のピーマン栽培の手伝いで就農スタートしました。現在は、ロックウールの施設トマト33aを栽培しています。

トマトの栽培は収穫期間が長いため、休みは少ないですが安定して収入を上げることができます。

四万十市のミディトマト農家は現在8名で栽培に関する悩みを相談できるベテラン農家がそろっています。部会でも新規就農者の支援を行いますので、四万十市でのトマト栽培に、ぜひトライしてください。



### ■ ピーマン農家：久保田 和浩さん

初めて農業を始めようという人には、ピーマン栽培は取り組みやすい作目だと思います。

理由は、対策をしっかりとすれば病害虫の発生を防げることや被害を最小限に抑えることができるので、収穫量が安定するからです。収穫量が安定することは、ピーマンの販売価格の変動が少なければ毎年安定した収入が得られるということです。

四万十市では、現在9名の農家があります。部会は比較的若い生産者が多く、栽培で悩むことがあればすぐ相談できる仲間がいます。



### ■ 米ナス農家：柴 美月さん

米ナス栽培を始めて2年目になります。

実家が農家だったこともあり、子供の頃から農業への関心が強く、高校卒業後は西土佐農業公社で2年間研修し、令和元年度に経営を始めました。

米ナスは収穫期間が長く、雨よけ栽培では3月に定植した後、5月頃から12月頃まで収穫できるため収入も安定します。

また、西土佐地域は露地米ナスの栽培面積が日本一であり、栽培技術に関しては篤農家を中心とした部会がフォローアップをしてくれますので、安心して農業を始めることができます。



## 新規就農者インタビュー

※内容は、令和2年12月時点の内容です。

### ● 施設ピーマン農家：土居 拓也さん (22歳 令和2年8月就農)



育てはじめのピーマンと土居さん

経営規模：25a  
労働力：本人+家族労働力(2人)  
5年後の目標所得額：約330万円

#### ○ 農業を始めようと思ったきっかけ

農業に興味をわいたのは小学校低学年ぐらいからです。はじめは祖父のピーマン作りの手伝いをしていて、農業が楽しいと思って将来就農したいと考えていました。

農業高校、農業大学校へ進学し、大学や叔父の元でコンピューターによる環境制御も学び、取り入れたいと考えました。

農家になることを周りからは反対されていましたが、自分の熱意と思いを伝え、何とか理解してもらいました。その後、家族の協力もあって、やっと自分のハウスでピーマン栽培が出来るようになりました。時間配分を自分の自由にでき、自分の好きなところに力を注げることが農業の魅力だと思います。

#### ○ 農業を始めるにあたって必要なこと

農業はやる気が大切で、自分が気になったことはすぐに聞くこと。そして、相談できる知り合いや部会などの組織との交流を大切にしてほしいと思います。

なお、かなりの初期費用が必要です。

#### ○ 今後の目標

目標反収は20t。収量を上げる方法を日々研究しています。将来的には農地を増やし、常時雇用できる法人を目指したい。

### ● 施設ショウガ農家：山崎 智也さん (28歳 令和2年9月就農)



右が山崎さん  
左は研修指導してくれた池本さん

経営規模：30a  
労働力：本人+家族労働力(2人)  
季節(5月～8月)臨時雇用6人  
5年後の目標所得額：約430万円

#### ○ 農業を始める前の仕事

県外で医療器具の販売をしていましたが、いずれは地元に戻ろうと考えていました。地元に戻って就農したいと思い、2年間は農業のアルバイトをしました。

#### ○ 研修作目を決めたポイント

アルバイトで経験した作目は、露地栽培のokra・ブロッコリー、施設栽培の生姜でした。バイトの経験をする中で、「時間管理がしやすく、作業内容にメリハリがある生姜栽培が僕にはあっている」と考え、施設生姜栽培の研修をすることに決めました。

#### ○ 研修の感想

バイトで経験した収穫だけでなく、植えから栽培管理そして収穫までの一連の作業を一から教わりました。研修先の農家以外の栽培方法も学びながらの2年間で、非常に勉強になりました。

#### ○ 生姜農家を目指す後輩へのアドバイス

一番重要なのはビニールハウスを建てるための資金です。自分で育てたものに価値が付くことは農業の喜びですし、生姜栽培はやりがいがあります。一方、自分に敵しい人でないし失敗するし、生姜農家には向いてないと思います。





## 移住した農業者インタビュー

※内容は、令和2年12月時点の内容です。

### ○「四万十市にきたきっかけは何でした？」

大阪での生活が息苦しくなり、楽しい場所(趣味のサーフィンができる土地)を探し関東地方から南下していました。大体同じところでの滞在期間は3日程度でしたが、四万十市での生活が楽しく1~2週間くらい滞在していたところ、根を下ろしてでもここにいたいと思い立ち、現在の暮らしに至っています。

農業をしたいと考えたのも、市内のリサイクルショップで働いていたころ、お客さんとの話の中で、農業について知ったことが始まり。その後研修事業があることを知り、生姜栽培の研修を受け、就農しました。

### 生姜農家：今村 真作さん



### ○「四万十市に来るにあたってのハードルはありましたか？」

ハードルがあると考えるようになる人に移住は難しい。やはり人付き合いは大切で、自分が知らない、わからないことはどんな些細なことでも質問できるような積極性や、何を言われても一度受け止めるハートの強さが大切です。

自分は移住を目的として四万十市で住み始めました。就農を考えたのはそれから10年以上経ってから。人を知り、人に知ってもらってから農業を開始したため、本来難しい土地探しも色々な人の紹介がありすぐに決まった。農家の集まりはたくさんあるので、色々なところに顔を出し、人脈を作ってもらいたい。

## 田舎暮らし 5か条

### 第1条 スローライフを満喫！だけでは×

スローライフを送るにはぴったりですが、地域の寄り合いや共同作業など、田舎には仕事以外にもやることがあります。

### 第2条 みんなでやることを見てるだけ！というのは×

田舎暮らしは「共同生活」でもあり、地域の催しや役割分担には積極的に参加してください。

### 第3条 あいさつは気が向いたとき！とか×

地域の新しい仲間として迎えてもらうためにも、まずはあいさつから。

### 第4条 仕事はなんとかなる！では×

後悔しないUターン生活をするためには仕事をきちんと確保しておく必要があります。

### 第5条 自己流は崩さない！というのは×

新しい農法を試したり、自己流の暮らし方をしてみたり…。むろんそれは皆さんの自由ですが、まわりからそのことを理解してもらうことが大切です。

- 都会から移住された人の声として、「四万十市は夏の湿度が高い」「公共交通が少ないので車がないと不便」など、都会とのギャップに驚かれることもあります。
- 「すぐに移住」ではなく、時間をかけて何度か訪れた上で移住を考えてみてください。



## 参考1 四万十市における経営類型の目安

目標所得：250万円以上

### 露地野菜の例

品目	面積(a)	収量(kg)	単価(円/kg)	収入(円)	経費(円)	所得(円)
オクラ	15	4,500	450	2,025,000	506,250	2,526,750
春ブロッコリー	40	3,600	400	1,440,000	432,000	
米ナス	25	18,125	220	3,987,500	1,988,750	2,617,500
ナバナ	20	1,200	750	900,000	281,250	

### 施設野菜の例

品目	面積(a)	収量(kg)	単価(円/kg)	収入(円)	経費(円)	所得(円)
ピーマン	20	32,000	436	13,952,000	11,375,000	2,577,000
トマト	20	20,000	540	10,800,000	8,131,000	2,669,000
雨よけ米ナス	17	18,700	230	4,301,000	1,642,000	2,659,000

## 参考2 農業機械一覧

区分	型式等	価格(目安)	耐用年数
トラクター	15 P S	150万円	7年
	20 P S	200万円	7年
	26 P S	260万円	7年
	30 P S	350万円	7年
管理機	—	30万円	7年
動力噴霧機	—	20万円～60万円	7年
畝立て機	—	50万円	7年
軽トラック	—	120万円	—
施設ハウス	A P 補強型	1,200万円/10a	14年
	A P 40	1,500万円/10a	14年
被覆資材一式	—	80～100万円/10a	



### 参考3 資金制度

資金名	青年等就農資金	近代化資金		ジャンプアップ資金		スーパーL資金
資金の内容	認定就農計画に明示された計画実行に必要な長期資金	機械・施設等、資本整備の高度化と経営の近代化を目的とした長期資金		同左に加え、農地取得にも利用できる長期資金		農地・機械等の購入に対して公庫が融資する長期資金
貸付対象者	認定新規就農者	認定農業者	その他農業者	認定農業者 20歳以上	その他農業者 20歳以上	認定農業者
資金用途	農地の取得	×	×	○	○	○
	機械・施設の取得	○	○	○	○	○
	栽培経費	○	○	○	○	○
	長期運転資金	○	○	○	○	○
貸付限度額	3,700万円	1,800万円（個人） 3,600万円（法人）		1,800万円（個人） 3,600万円（法人）	1,500万円（個人） 3,000万円（法人）	3億円（個人）
融資率	100%	100%	80%	100%		-
償還 （据置期間）	17年以内 （5年以内）	15年以内 （7年以内）	15年以内 （3年以内）	15年以内 <sup>※</sup> （7年以内） ※ 農地の取得は25年以内		25年以内 （10年以内）

※ 青年等就農資金以外は、利息がつきます。  
 ※ 作成時の内容のため、変更となる場合があります。

### 参考4 四万十市における新規就農者向け経営指標

#### ■ 認定新規就農者の定義

「認定新規就農者」とは、農業を経営開始から5年後の目標を示した「青年等就農計画」を市へ提出し、「地域農業の新たな担い手」として認定された新規就農者のことを言います。国・県・市などの行政機関や農業関係機関は、認定新規就農者に対して支援を行っていきます。





## 参考4 四万十市における新規就農者向け経営指標

### ■ 施設ピーマンを栽培する新規就農者のケース

#### 1 品目

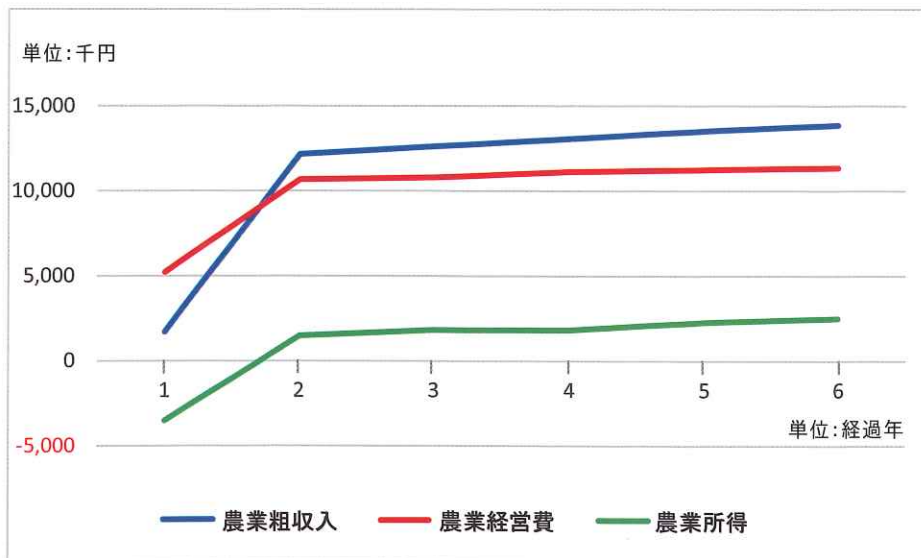
施設野菜(中村地域)	1年目	6年目
ピーマン	20a	20a



#### 2 所有農業用機械等

	数量	金額	備考
ビニールハウス一式	1棟	3,000千円	中古取得
被覆資材(天)	1式	2,000千円	
被覆資材(二重)	1式	500千円	
灌水設備	1式	3,980千円	
動力噴霧器	1台	200千円	
軽トラック	1台	1,000千円	
合計		10,680千円	

#### 3 所得推移計画



単位:千円

項目 \ 経過年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
農業粗収入	1,744	12,208	12,644	13,080	13,516	13,952
農業経営費	5,240	10,756	10,856	11,211	11,255	11,375
農業所得	-3,496	1,452	1,788	1,869	2,261	2,577

※生活に関する支出(家計費や租税公課(税金)等)は未掲載。

## 参考4 四万十市における新規就農者向け経営指標

### ■ 施設トマト(ポットファームシステム)を栽培する新規就農者のケース

#### 1 品目

施設野菜(中村地域)	1年目	6年目
トマト	20a	20a

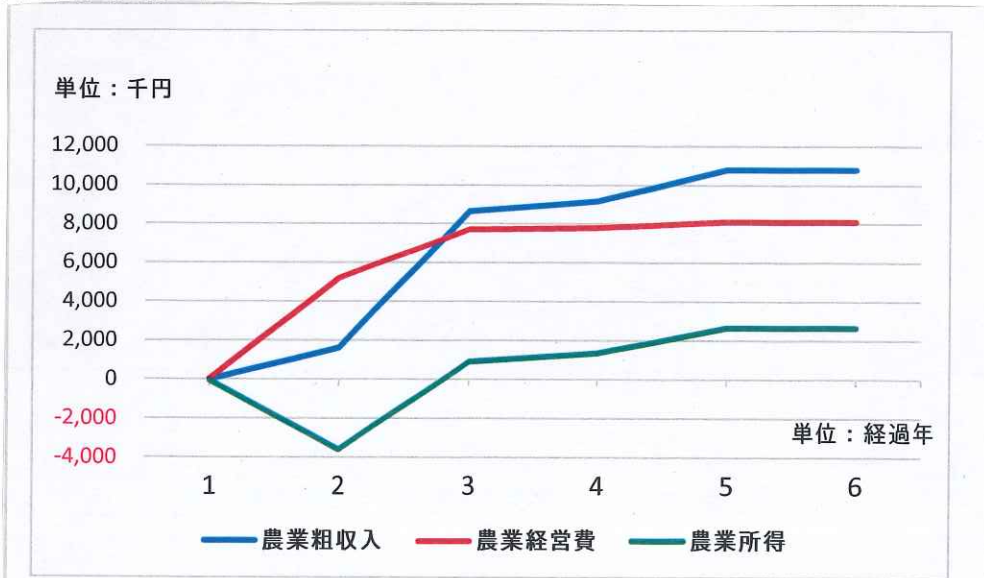
※栽培方式はポットファームシステム



#### 2 所有農業用機械等

	数量	金額	備考
ビニールハウス一式	1棟	3,000千円	中古取得
被覆資材・防虫ネット	1式	1,300千円	
ポット資材	1式	4,350千円	
防草シート	1式	400千円	
遮光ネット	1式	930千円	
動力噴霧器	1式	300千円	
軽トラック	1台	0千円	自己所有
合計		10,280千円	

#### 3 所得推移計画



単位：千円

項目	経過年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
農業粗収入		0	1,620	8,640	9,180	10,800	10,800
農業経営費		48	5,231	7,731	7,831	8,131	8,131
農業所得		-48	-3,611	909	1,349	2,669	2,669

※生活に関する支出(家計費や租税公課(税金)等)は未掲載。



## 参考4 四万十市における新規就農者向け経営指標

### 雨よけ米ナスを栽培する新規就農者のケース

#### 1 品目

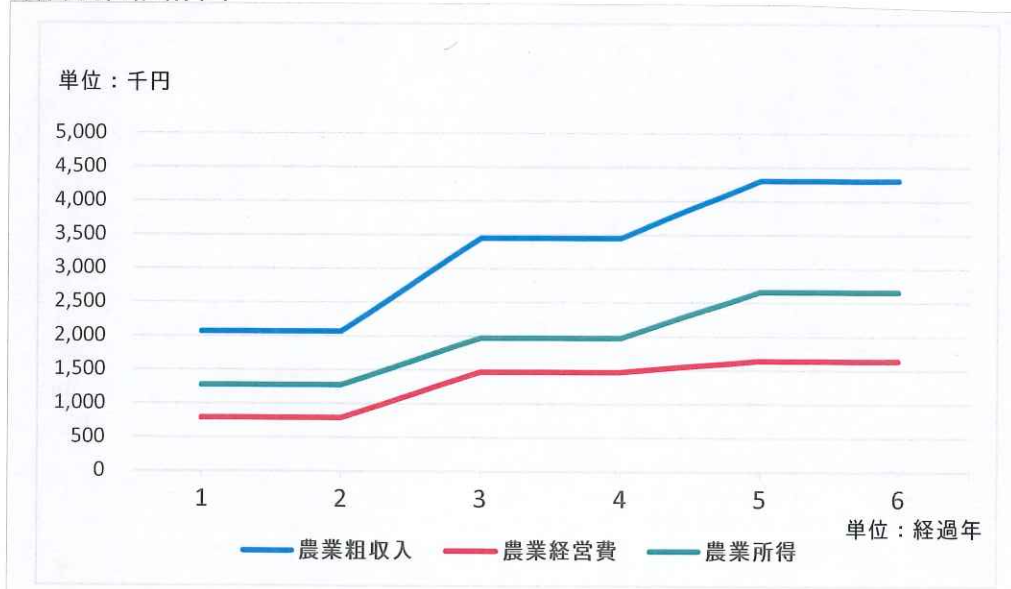
雨よけ栽培(西土佐地域)	1年目	6年目
雨よけ米ナス	10a	17a



#### 2 所有農業用機械等

	数量	金額	備考
ビニールハウス式 (簡易雨よけハウス)	1棟	1,800千円	うち900千円は補助金(地域営農支援事業費補助金)有り
トラクター	1台	0千円	無償使用賃借
管理機	1台	200千円	
動力噴霧器	1台	200千円	
軽トラック	1台	0千円	自己所有
合計		2,200千円	

#### 3 所得推移計画



単位：千円

項目	経過年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
農業粗収入		2,070	2,070	3,450	3,450	4,301	4,301
農業経営費		791	791	1,475	1,475	1,642	1,642
農業所得		1,279	1,279	1,975	1,975	2,659	2,659

※生活に関する支出(家計費や租税公課(税金)等)は未掲載。



## 各種お問い合わせ先

### 総合案内

四万十市農林水産課農業振興係

高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地

TEL (0880)34-1117 E-mail [nourin@city.shimanto.lg.jp](mailto:nourin@city.shimanto.lg.jp)

四万十市西土佐総合支所産業建設課産業振興係

高知県四万十市西土佐江川崎2445番地2

TEL (0880)52-1113 E-mail [n-sangyou@city.shimanto.lg.jp](mailto:n-sangyou@city.shimanto.lg.jp)

### 農業の経営・栽培に関する問い合わせ先

高知県幡多農業振興センター

高知県四万十市古津賀4丁目61番地 TEL (0880)-34-7070

高知県農業協同組合幡東営農センター

高知県四万十市竹島4294番地1 TEL (0880)-31-5301

### 研修施設や移住者向け住宅の紹介ホームページ

#### 研修施設の紹介

四万十農園めぐりっこ・西土佐農業公社

ホームページ <http://www.city.shimanto.lg.jp/gyosei/nousui/syuunou.html>

高知県立農業担い手育成センター

ホームページ <https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2011>



#### 移住者支援住宅の情報紹介

四万十市移住支援情報

ホームページ <http://iju.city.nakamura.kochi.jp/>

NPO法人 四万十市への移住を支援する会

<https://shimantocity-hataturn.com/>



### 産地提案書の内容

ホームページ

<https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/shunou-sien/info/dtl.php?ID=7392>





本冊子は、株式会社日本政策金融公庫高知支店農林水産事業の  
令和2年度地域連携支援事業を活用して作成しています。

発行者 四万十市農林水産課農業振興係  
発行日 令和3年2月

〒781-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地  
TEL:0880-34-1117(直通)  
FAX:0880-34-0478  
URL:<http://www.city.shimanto.lg.jp>



■ お問い合わせ

四万十市農林水産課

〒781-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地

TEL:0880-34-1117(直通)

FAX:0880-34-0478

URL:<http://www.city.shimanto.lg.jp>